

堺市に届いた「特定図書排除を求める」匿名のメール
(情報公開された文書)

○平成20年7月30日意見(中央図書館・図書館に開架している本について)

受信日: 2008/07/30 11:27:54

送信日: 2008/07/30 11:27:47

件名: 市政への提案箱

[年代]

40歳代

【性別】

男

[区]

堺区

[テーマ]

大量に開架されているBL

[提案内容]

現在、北図書館・南図書館・西図書館・中図書館という堺市の4つの大きな図書館において、一般に「BL」と称される少女向け男性同性愛の本が大量に開架されています。男性同士の性愛行為の描写まであり、しかも、そのような内容が一般に少女向けの本であることには驚きを隠せません。本の表紙は表も裏もともに「男性同士が抱き合っている・キスをしている」などの絵であり、中には「男性同士がフェラチオ行為をしている」などという絵までありました。多くの一般市民が利用する公共の施設の施設に、このような破廉恥な表紙の本を一般図書と同じ書棚に並べて大量開架するとは、セクハラ以外のなにものでもなく、常軌を逸しています。現在では女性の水着のポスターなどが社内にあったりするだけでセクハラとされるにもかかわらず、このような本を一般利用者に見せつける形で大量開架してきた図書館は、すでに私たち市民の一般常識から大きくかけ離れていることと判断せざるを得ません。そして、このBLと呼ばれる本は基本的には少女向けの男性同性愛の本です。このような本を大量に開架するとは、子供に対する影響を心配する親のことをまったく考えていないという他ありません。また、限られた予算の中において、図書館としては他に買い揃えるべき有益な本が他にもたくさんあります。それにもかかわらず、このような少女向け男性同性愛の本を千冊レベルで買い揃えるとは、尋常ではありません。苦しい家計の中から税金を納めている市民のことも考えて欲しいのです。「表現の自由」ということもあります。だからといって文化・教養の場である図書館にこのような本を置くことを正当化する理由にはならないのではないのでしょうか? 「表現の自由」により、子供に悪影響をを与えかねない本を市民の血税により大量購入し、公共の場である図書館に開架することを正当化できるのでしょうか?

「子供は図書館に行って勉強しておいで」と言ったら、娘たちはなんと少女向け男性同性愛の本の世界に入り込んでしまった、などとは何ともやりきれない思いです。多くの市民が、このような本を図書館で見かけて「なんでこんな本が図書館にあるねん?!」と思っ

ています。そのように思うのが普通の感覚です。思っているにあえて口に出して抗議をしないだけです。

もう一点付け加えておきます。このＢＬのような男性同性愛の小説は、かえって現実の男性同性愛者に対する理解を妨げるものでしかありません。男性同性愛を、少女が妄想し興奮するように、現実ではなかなかありえないようなストーリー展開になっているからです。男性同性愛を個人の妄想に資するように、おもしろおかしく書いているのがＢＬです。このような本は、かえって現実の男性同性愛者の人権を軽く見ているとしか思えません。同性愛に対する理解を深めるのに、妄想に資するポルノ小説は何の役にも立ちません。

今後はこのような本を大量に購入する前に、文化・教養の場である図書館に有用な図書を購入していただきたいと思います。市民が汗水流して働いて収めた税金です。その税金でどのような本を買えばよいのか、常識的に考えていただきたいのです。これは私の個人的な特殊な意見でないことは、お分かりいただけるかと思います。多くの一般市民も同じ思いです。堺市の子どもは堺市の宝なんです。「表現の自由」によって、はたして一般市民が納得できるかどうか、考えてみてくださいし、。「堺市は『表現の自由』という理由で、少女向け男性同性愛の本を大量に購入し開架してします。これは堺市の図書館の信念です。」と、このようにＨＰに堂々と掲載してください。

随分と厳しいことを書かせていただきましたが、このように書いたのも、わが町、堺を、そして堺市の他市に誇るべき図書館を、そして堺市の子どもたちを愛おしく思うが故です。何卒、善処の程、よろしくお願いします。私がここに長々と書きましたのは、一般市民の平均的かつ常識的な意見であることを最後に申し衰えておきます。

〔名前〕

〔フリガナ〕

〔〒〕

〔住所〕

〔ＴＥＬ〕

〔Ｅ－ｍａｉｌ〕

〔フリガナ〕

○平成20年8月1日質問（中央図書館1BL図書を購入した趣旨や目的、またこれまでに購入した冊数及び購入費を教えてください）

受信日2008/07/31 21:17:11

送信日：2008/07/31 21:17:07

件名：市政への提案箱

〔年代〕・

40歳代

〔性別〕

男

〔区〕

〔テーマ〕

中央図書館の約束実行

〔提案内容〕

先日、図書館のBLの大量購入・開架について当HPにて問い合わせた者です。先日の私の記述のうち、「少女向けホモ小説」が不適当な表記であれば、そこは「BL（ボーイズ・ラブ）」と表記を変えてくださってもかまいませんので、必ず近日中に当HPに掲載して下さるよう、強くお願い申し上げておきます（本日の書き込みは、別に掲載する必要はありませんが）。そしてBLを書庫に収納するという決定を下しことに関しての説明をその後必ず書いておいて下さい。

昨日、南図書館より、そして本日、議員様より、その後の経過についてお聞きしたところ、すべてのBLを書庫に収納すること、この夏休み期間、とりあえずは有害図書が目に触れることもなくなり安心しました。それにしても、世間では常識となっている配慮がまったくなされず、白昼堂々と開架されてきたとは、やはり図書館の方々にはもっと常識的な考えを持っていただきたいと思う次第です。

それで本題はここからです。本日、市内の図書館を統括する立場にある中央図書館にも、この一件に関する見解をお伺いしました。そして「BLを大量購入した趣旨を明らかにする、BLの購入冊数・購入費を明らかにする」ということをお約束いただきました。よって、以下の二点に関して、市民の質問に回答する形でもかまいませんので、当コーナーにて発表してください。

1. 図書館はどのような趣旨・意図・目的によって、BLを大量購入したのか？
2. これまでに購入したBLの冊数及び購入費。

以上、二点を必ず公開してください。

なお、「リクエストがあったから」という理由では、購入しているBLの冊数があまりにも膨大であること、リクエストがあっても市民の要望を蹴っている例も多いこと、以上の理由により、まったく適切ではありません。市民の血税により、市内の主要な図書館すべてに数百冊単位で置いている以上は、それなりの理由があるはずです。

○平成20年8月13日要望（中央図書館・図書館に大量開架されてあったBLを書庫に収納

することとなった経緯を速やかにホームページに掲載してください）

受信日：2008/08/12 20:36:23

送信日：2008/08/12 20:36:18

件名：市政への提案箱

〔年代〕

40歳代

〔性別〕

〔区〕

〔テーマ〕

書庫のBLの処分

〔提案内容〕

堺市の図書館のBLの大量購入及び大量開架について問い合わせてきた者です。

とりあえずはセクハラまがいの大量開架を中止し、書庫へ収納したというのは、当然のこととはいえ、評価したいと思います。そしてBLの購入冊数及び購入総額もカウントし、当HPに掲載するとのこと、この対応も評価したいと思います。

本日、中央図書館のカワサカ様とお話し、書庫のBLも処分するとのことでした。何卒、よろしくお願いします。

なお、堺市周辺の市立図書館や、大阪市内の区立図書館、そして大阪府立図書館も見学してきましたが、BLを購入しているような非常識な図書館はひとつもありませんでした。本当に堺市の図書館は非常識きわまりないと、あらためて実感した次第です。あんな本をよくも平気で市民に見せつけていましたね。市民をバカにするのもいい加減にしたらどうですか？どの図書館でも「BLを置いて欲しいというリクエストはありませんねえ」と言っていましたよ。いったい、何千冊もBLを大量購入する必要があるほど、リクエストが殺到していたのでしょうか？？私が南図書館の方に伺ったところ、「リクエストがあったから」を逃げ口上にしていましたが、何千冊もBLを購入する必要があるほどリクエストがあったなどとはウソでしょう。

とにかく堺市の図書館で働く人間は、一般常識が理解できない人間が多いようです。市民の感覚に反するようなことは、今後は止めていただきたく存じます。市民の血税をBLなどに何百万円も注ぎ込んで、そしてそれを市民に見せつけて恥じるところがない人たちのために税金を納めているわけではありません。

繰り返し述べておきますが、こんな本を大量に収納しているのは「堺市の恥」です。それに書庫にスペースも有効に使っていただきたいです。すみやかにBLを換金し、他の有益な図書の購入費に当てるよう、強く強く要望いたします。

BLの購入冊数及び購入総額の掲載については、計算が済み次第、掲載してください。こちらは、もうしばらくお待ちいたしましょう。

しかし、大量開架されてあったBLを書庫に収納することとなった経緯については、速やかに当HPにて掲載してください。ずいぶんと些細な件に関してまで、当HPには掲載しているではありませんか？なぜ、これほどの大掛かりな作業をすることとなった経緯に関

する説明がないのですか？簡単なことでしょうが。